

ウ 本でなければ得られないものは、現在の社会ではそれほど多くないと考えること
 エ 本をたくさん読むことで、物事を深く考える力が身につけられると考えること
 オ さまざまなメディアの発達により、活字メディアの優位性が徐々に失われたと考えること

(三) 筆者は第三段落で、紙に書かれた活字メディアの長所について述べている。それを要約して、七十字以上八十字以下で書きなさい。ただし、「格闘」、「ベース」、「複眼思考」という三つのことばを全て使って、「活字メディアは、……」という書き出しで書くこと。三つのことばはどのような順序で使ってもよい。

(注意) ・句読点も一字に数えて、一字分のマスを使うこと。
 ・文は、一文でも、二文以上でもよい。
 ・次のページの枠を、下書きに使ってもよい。

(四) 著者と対等な関係に立つこと が大切であると筆者が考える理由として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。
 ア 著者と対等な関係に立つことで、文章を書いているときの著者の迷いや選択を主体的に分析できるようになり、自分が試行錯誤して文章を書き上げる際に役立つから。
 イ 著者と対等な関係に立つことで、著者の言い分を客観的にとらえて受け入れられるようになり、書物を通して効率的に知識や情報を獲得することができるから。

※ 左の枠は、(三)の下書きに使ってもよい。ただし、解答は必ず解答用紙に書くこと。

活	字	メ	デ	ィ	ア	ハ		

80 70

ウ 著者と対等な関係に立つことで、著者に対する好き嫌いの感情を乗り越えられるようになり、試行錯誤の末に書き上げられた本の内容をより深く理解できるから。

エ 著者と対等な関係に立つことで、文章を書く過程に含まれる著者の迷いや選択を意識できるようになり、書かれたものを漫然と読むのではなく考えながら読む習慣が身につくから。

(五) この文章の論の進め方の特徴として適当なものを、次のアからオまでの中から二つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 一般によく知られる指摘の前提にある考え方を取り出し、客観的なデータを示しながら、その考え方の誤りを明らかにしている。

イ はじめに明確な結論を述べ、その後具体的例を複数挙げて結論の正しさを示し、説得力をもたせている。

ウ 問いを立ててそれに対する答えを述べ、さらに問いを立てて答えながら、わかりやすく自分の考えを伝えていく。

エ 対立する二つの意見を紹介し、それぞれがもつ欠点を明らかにし、たうえて、いずれとも異なる独自の意見を主張している。

オ 常識とされている考え方に對して疑問を投げかけ、その分析を糸口として、自分の主張を展開している。

カ 事例によって問題を提起したあとで自分の主張を述べ、さらに想定される反論に対する考えを述べて、説得力を増している。

二 次の(一)、(二)の問いに答えなさい。

(一) 次の①、②の文中の傍線部について、漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

① 二勝二敗で迎えた団体戦の勝敗は、最後の選手に委ねられた。

(二) 次の③の文中の傍線部と同じ漢字を用いるものを、あとのアからエまでの中から一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

③ 彼の作った銅像にはジュウコウ感がある。

ア 祖父の家には、古いコウテツ製の金庫がある。

イ 世界中が、彼の平和へのコウセキをたたえた。

ウ 学校の前の道路は、コウツウリヨウが多い。

エ 保育所は、コウセイ労働省が管轄している。

◇M1(149-5)

— (4) —

◇M1(149-4)

— (3) —